

平成29年度版教科書 検討の観点と内容の特色

高等学校用

美術1

科目名	教科書名	番号・略称	記号・番号	出版社名
美術	美術1	38光村	美I 304	光村図書

項目	観点	特色・具体例
1 内容の選択・程度	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習指導要領,教科の目標を達成するために必要な教材が適切に用意されているか。 ● 基礎的,基本的事項の理解や,その習得のため,適切な配慮がなされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 学習指導要領に示された「美術I」の目標・内容をふまえ, A表現・B鑑賞の題材がバランスよく,相互に関連を図りながら適切に配置されている。 ◇ 日本や西洋の美術だけにとどまらず,幅広い地域や時代の作品が多角的に取り上げられており,生涯を通して美術文化について理解が深まるよう配慮されている。 ◇ 各題材や巻末資料の中で,作品をつくるときの手がかりや基礎的な技法が具体的に示されており,表現活動に生かすことができる。
2 組織・配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ● 内容の組織,配列,分量は,学習指導を有効に進められるように考慮されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 教科書の題材が学習指導要領に沿って絵画・彫刻,デザイン,映像メディア表現の分野別に整理され,バランスよく配置されている。内容が一目で分かるようにインデックスで色分けがされており,学習指導を進める上で使いやすいよう工夫されている。 ◇ 各題材では学習のねらいを示した目標が記されており,学習指導を効果的に進めることができる。 ◇ A表現では,絵画・彫刻,デザイン,映像メディア表現それぞれにおいて取り上げる活動のバランスと分量が配慮されている。B鑑賞では「作家の生涯と作品」「見る・知る・学ぶ」「作品鑑賞室」など切り口の異なる題材が設けられ,多角的な鑑賞体験への提案がなされている。 ◇ 表現の題材では,作品を発想し制作する際に参考になる「制作ノート」が示されている。 ◇ 「作家の手法」として,4名の作家が実際に制作する様子が紹介されている。作家の発想のポイントや,技法上の工夫などを実感しながら学習を進められるよう配慮されている。 ◇ 「作品鑑賞室」では,鑑賞を深めるための生徒への問いかけをQマークをつけて記し,意欲的に学習できるようになっている。 ◇ アニメーションの原理を伝えるパラパラアニメ,裏表紙のデザインバーコードなど,生徒の興味・関心を高めながら学習指導を進める工夫がなされている。 ◇ 巻末に「鉛筆で描く」「透明水彩絵の具で描く」「アクリルグアッシュで描く」といった技法についての資料が設けられており,制作の流れや用具の使い方を適宜参照しながら学習指導を進めることができる。 ◇ 巻末に形や色彩,絵の具の特徴に関する資料が設けられており,表現と鑑賞の各題材で必要に応じて活用することができる。 ◇ 「インタビュー 美術の仕事」では,美術家やデザイナーの生き方,考え方などを紹介している。生徒の美術への興味・関心を喚起させ,職業について意識させる内容である。 ◇ 両観音開きの4ページにわたる「美術史年表」では,東洋と西洋の作品が上下に分けて整理されており,視覚的に理解しやすいよう配慮されている。また,「ルネサンス」や「印象派」など,6つのトピックを扱った「トピックス美術史」が設けられ,美術文化に関する理解を深めることができる。
3 表記・表現および使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習意欲を高めるための配慮がなされているか。 ● 用語・記号の取り上げ方や記述のしかたは適切か。 ● 印刷の鮮明さ,活字の大きさ,行間,製本などは適切か。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ A4ワイド判(297×232mm)の紙面を生かし,2ページ大での作品掲載などが取り入れられている。迫力ある紙面で生徒の学習意欲を高めるとともに,作品を細部まで鑑賞することができる。 ◇ カラーユニバーサルデザイン,特別支援教育の観点から専門家の校閲がなされており,誰もが学習しやすい紙面づくりが配慮されている。 ◇ 用語や表記は統一されており,記述のしかたも適切である。 ◇ 活字は鮮明で読みやすい大きさ・書体である。写真・図版も鮮明で効果的である。また,製本も堅牢である。 ◇ 表紙はポリプロピレンラミネート加工により,画材や粘土などによる汚れにも対応できる。 ◇ 裏表紙には名前欄が設けられており,実用に適している。 ◇ 造本においては,環境に配慮した紙と植物油インキを使用している。
4 総合所見	<ul style="list-style-type: none"> ● 上記観点から見た,全体的・総合的な当教科書の特徴。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 学習指導要領に合わせて分野別に整理して構成され,表現を支援するヒントや多角的な鑑賞体験の提案,表現と鑑賞の各題材で活用できる資料などが盛り込まれている。「感性を高め,創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし,美術文化についての理解を深める」という「美術I」の学習指導要領の目標に合致している。

平成29年度版教科書 検討の観点と内容の特色

高等学校用

美術2

科目名	教科書名	番号・略称	記号・番号	出版社名
美術	美術2	38光村	美Ⅱ 301	光村図書

項目	観点	特色・具体例
1 内容の選択・程度	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習指導要領、教科の目標を達成するために必要な教材が適切に用意されているか。 ● 基礎的、基本的事項の理解や、その習得のため、適切な配慮がなされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 学習指導要領に示された「美術Ⅱ」の目標・内容をふまえ、A表現・B鑑賞の題材がバランスよく、相互に関連を図りながら適切に配置されている。 ◇ 「美術Ⅰ」の学習を基礎にして美術の諸能力を伸ばすことをねらいとする「美術Ⅱ」の性格をふまえ、より表現や鑑賞の能力を深められるよう学習内容の段階化が図られている。 ◇ 日本や西洋の美術だけにとどまらず、幅広い地域や時代の作品や、広く社会の中で活躍する作家などが取り上げられており、生涯を通して美術文化について理解が深まるよう配慮されている。 ◇ 各題材や巻末資料の中で、作品をつくる時の手がかりや基礎的な技法が具体的に示されており、表現活動に生かすことができる。
2 組織・配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ● 内容の組織、配列、分量は、学習指導を有効に進められるように考慮されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 教科書の題材が学習指導要領に沿って絵画・彫刻、デザイン、映像メディア表現の分野別に整理され、バランスよく配置されている。内容が一目で分かるようにインデックスで色分けがされており、学習指導を進める上で使いやすい工夫されている。 ◇ 各題材では学習のねらいを示した目標が記されており、学習指導を効果的に進めることができる。 ◇ A表現では、絵画・彫刻、デザイン、映像メディア表現それぞれにおいて取り上げる活動のバランスと分量が配慮されている。また各題材で「美術Ⅰ」での学習をふまえ、より創造的な表現を促すために、「美術Ⅰ」からの内容の段階化が図られている。 ◇ B鑑賞では「作家の生涯と作品」「見る・知る・学ぶ」「作品鑑賞室」などの題材が設けられ、多角的な鑑賞体験への提案がなされている。作品の時代的背景や宗教、社会との関わりにも触れられており、美術文化についての理解をより深められる内容になっている。 ◇ 表現の題材では、作品を発想し制作する際に参考になる「制作ノート」が示されている。 ◇ 「作家の手法」として、3名の作家が実際に制作する様子が紹介されている。作家の発想のポイントや、技法上の工夫などを実感しながら学習を進められるよう配慮されている。 ◇ 「作品鑑賞室」では、鑑賞を深めるための生徒への問いかけをQマークをつけて記し、意欲的に学習できるようにしている。 ◇ アニメーションの原理を伝えるパラパラアニメ、裏表紙のデザインバーコードなど、生徒の興味・関心を高めながら学習指導を進める工夫がなされている。 ◇ 巻末に「さまざまな画材で描く」「油絵の具で描く」「日本画の絵の具で描く」といった技法についての資料が設けられており、制作の流れや用具の使い方を参照しながら学習指導を進めることができる。 ◇ 「インタビュー 美術の仕事」では、美術家やデザイナーの生き方、考え方などを紹介している。生徒の美術への興味・関心を喚起させ、職業について意識させる内容である。
3 表記・表現および使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習意欲を高めるための配慮がなされているか。 ● 用語・記号の取り上げ方や記述のしかたは適切か。 ● 印刷の鮮明さ、活字の大きさ、行間、製本などは適切か。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ A4ワイド判(297×232mm)の紙面を生かし、2ページ大での作品掲載などが取り入れられている。迫力ある紙面で生徒の学習意欲を高めるとともに、作品を細部まで鑑賞することができる。 ◇ カラーユニバーサルデザイン、特別支援教育の観点から専門家の校閲がなされており、誰もが学習しやすい紙面づくりが配慮されている。 ◇ 用語や表記は統一されており、記述のしかたも適切である。 ◇ 活字は鮮明で読みやすい大きさ・書体である。写真・図版も鮮明で効果的である。また、製本も堅牢である。 ◇ 表紙はポリプロピレンラミネート加工により、画材や粘土などによる汚れにも対応できる。 ◇ 裏表紙には名前欄が設けられており、実用に適している。 ◇ 造本においては、環境に配慮した紙と植物油インキを使用している。
4 総合所見	<ul style="list-style-type: none"> ● 上記観点から見た、全体的・総合的な当教科書の特徴。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 学習指導要領に合わせて分野別に整理して構成され、表現を支援するヒントや多角的な鑑賞体験の提案、表現と鑑賞の各題材で活用できる資料などが盛り込まれている。「創造的な諸活動」を通して、「個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める」という「美術Ⅱ」の学習指導要領の目標に合致している。

平成29年度版教科書 検討の観点と内容の特色

高等学校用

美術3

科目名	教科書名	番号・略称	記号・番号	出版社名
美術	美術3	38光村	美Ⅲ 301	光村図書

項目	観点	特色・具体例
1 内容の選択・程度	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習指導要領,教科の目標を達成するために必要な教材が適切に用意されているか。 ● 基礎的,基本的事項の理解や,その習得のため,適切な配慮がなされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 学習指導要領に示された「美術Ⅲ」の目標・内容をふまえ, A表現・B鑑賞の題材がバランスよく,相互に関連を図りながら適切に配置されている。 ◇ 「美術Ⅰ」及び「美術Ⅱ」の学習を基礎にして美術の諸能力を伸ばすことをねらいとする「美術Ⅲ」の性格をふまえ,より表現や鑑賞の能力を深められるよう学習内容の段階化が図られている。 ◇ 日本や西洋の美術だけにとどまらず,幅広い地域や時代の作品が取り上げられている。また現代社会や世界遺産をテーマにした題材を設け,社会や文化への視野を広げることができるよう工夫されている。 ◇ 各題材の中で,作品をつくる時の手がかりや基礎的な技法が示されており,表現に生かすことができる。
2 組織・配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ● 内容の組織,配列,分量は,学習指導を有効に進められるように考慮されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 教科書の題材が学習指導要領に沿って絵画・彫刻,デザイン,映像メディア表現の分野別に整理され,バランスよく配置されている。内容が一目で分かるようにインデックスで色分けがされており,学習指導を進める上で使いやすいよう工夫されている。 ◇ 各題材では学習のねらいを示した目標が記されており,学習指導を効果的に進めることができる。 ◇ A表現では,絵画・彫刻,デザイン,映像メディア表現それぞれにおいて取り上げる活動のバランスと分量が配慮されている。B鑑賞では「作家の生涯と作品」「見る・知る・学ぶ」「作品鑑賞室」などの題材が設けられ,多角的な鑑賞体験への提案がなされている。 ◇ 表現の題材では,作品を発想し制作する際に参考になる「制作ノート」が示されている。 ◇ 「作品鑑賞室」では,鑑賞を深めるための生徒への問いかけをQマークをつけて記し,意欲的に学習できるようにしている。 ◇ 裏表紙のデザインバーコードなど,生徒の興味・関心を高めながら学習指導を進める工夫がなされている。 ◇ 「インタビュー 美術の仕事」では,美術家やデザイナーの生き方,考え方などを紹介している。生徒の美術への興味・関心を喚起させ,職業について意識させる内容である。 ◇ 卒業を控えた生徒の参考となるように,巻末に「ポートフォリオをつくる」,キャリア教育を意図した「美術を学んで広がる未来」といった資料が設けられている。
3 表記・表現および使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習意欲を高めるための配慮がなされているか。 ● 用語・記号の取り上げ方や記述のしかたは適切か。 ● 印刷の鮮明さ,活字の大きさ,行間,製本などは適切か。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ A4ワイド判(297×232mm)の紙面を生かし,2ページ大での作品掲載などが取り入れられている。迫力ある紙面で生徒の学習意欲を高めるとともに,作品を細部まで鑑賞することができる。 ◇ カラーユニバーサルデザイン,特別支援教育の観点から専門家の校閲がなされており,誰もが学習しやすい紙面づくりが配慮されている。 ◇ 用語や表記は統一されており,記述のしかたも適切である。 ◇ 活字は鮮明で読みやすい大きさ・書体である。写真・図版も鮮明で効果的である。また,製本も堅牢である。 ◇ 表紙はポリプロピレンラミネート加工により,画材や粘土などによる汚れにも対応できる。 ◇ 裏表紙には名前欄が設けられており,実用に適している。 ◇ 造本においては,環境に配慮した紙と植物油インキを使用している。
4 総合所見	<ul style="list-style-type: none"> ● 上記観点から見た,全体的・総合的な当教科書の特徴。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 学習指導要領に合わせて分野別に整理して構成され,表現を支援するヒントや多角的な鑑賞体験の提案,卒業を控えた生徒の参考になる資料などが盛り込まれている。「創造的な諸活動」を通して,「生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに,感性と美意識を磨き,個性豊かな美術の能力を高める」という「美術Ⅲ」の学習指導要領の目標に合致している。

平成29教 内容解説資料

<http://www.mitsumura-tosho.co.jp/>

光村図書出版株式会社

この資料に掲載されている「検討の観点と内容の特色」は,ホームページからダウンロードすることができます。

〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9
電話03-3493-2111(代表)